



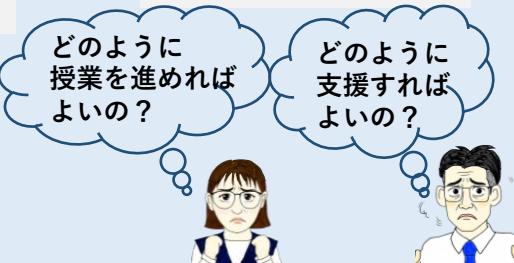
だけど、実際は…

子供

学びの場
共に学ぶ相手によって
学び方が違ったら

教師

多様な子供が
共に学ぶ授業で



特別支援研究係
調査研究
詳細はwebで▶

目指すのは、通常の学級、特別支援学級、特別支援学校を問わず、
どの学びの場、どの教科、誰でも実践できる授業づくり

共通の目的で
つながれたら…

自らの学びを
進められる
環境があったら…



仮説

誰もが共に生き生きと学べるのかもしれない!!



手立て①

共通の目的でつながり、
目的意識をもち続けながら
学ぶことができる単元構成

単元構成ツール「ヤルキミチコ」
を使い、子供の「やりたい」「知りたい」を引き出す単元を構成を考えます。



カスタマイズしたAIアシスタントを活用し、
アイデアを得ることもできます。

手立て②

自分に合った学び方で自ら学びを
進めることができる環境構成

環境構成ツール「トトノエタロー」
を使い、自らの学びを進めることができる環境構成を考えます。



誰もが共に生き生きと学ぶことができる学校

小学校の実践発表をします！



特別支援学校（知的障害）の実践発表をします♪



授業づくり体験コーナーで待ってます!!